

コンポスターの使用について

～キエー口編～

キエー口とは、庭先やベランダで簡単にできる生ごみを土に還す仕組みの事です。土に穴を掘って生ごみを入れ、土と混ぜて、かぶせるだけで、土の中にいる微生物が酸素を使って生ごみを水や二酸化炭素に分解します(土の量は増えません)。水分を切る必要がなく、自然の力で分解するため、環境にやさしい。

【ご使用になる前に】

- ① 容器、フタ、排水口にひび、破損がないか確認し、破損個所があれば取り替えいたします
- ② 黒土を購入してください 1袋 14㍓ 約400円
- ③ 容器に排水口を取り付ける

【準備するもの】

シャベル、ペットボトルに入れた水

【使用方法】

- ① 容器に黒土を入れる
- ② 生ごみを入れるため、深め(20 cm程)に穴を掘る
- ③ 生ごみを入れる(目安は三角コーナー1杯分)
- ④ 土と生ごみの見分けがつかなくなるまでよく混ぜ、水を入れて土団子ができるようにする
- ⑤ 混ぜた生ごみが表面に出ないように、乾いた土を5～6 cmかぶせる
- ⑥ 次の生ごみは埋める場所を変える
- ⑦ 生ごみの分解には10日程かかり、ごみが無くなったら埋めた部分と全体をひっくり返すように混ぜる。容器の底は水分が溜まりやすいので、ぬか床を育てるようなイメージで土に空気を含ませてあげる

【使用上の注意点】

- ・日当たりが良く、風通しの良い屋外に置いてください(ベランダも可)
- ・ごみを分解するバクテリアは基本的に人間の食べるものが好きです。
 - ◎分解が早いもの・・・野菜、肉類、廃油、みそ汁、カレー、マヨネーズ、ヨーグルトなど
 - △分解に時間がかかるもの・・・生野菜の芯や葉、柑橘系、魚の骨など
 - ×分解できないもの・・・卵の殻、貝殻、玉ねぎの皮、豆類、アボカド、梅干し、鶏の骨など
- ・野菜などは細かく切ると分解が早くなります
- ・汁物や水分の多いごみを入れる時は、加える水の量を調節してください
- ・毎日埋めると分解が消化不良となり、臭いや虫の湧く原因になってしまうのでやめましょう
- ・底に水が溜まり臭い場合、一度天地をひっくり返して土を乾かすと臭いが無くなります
- ・フタを開けるときは、持ち手を下に押さえながら開けると簡単に開けることができます
- ・モニター終了後の破損等は、各自で交換、廃棄をお願いします